

定例市長記者会見録

日 時：5月29日(木) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、NHK、中部経済新聞、共同通信、
時事通信

本日の案件は四つです。

1番目は『i-スマ会員による一宮市へのDX事業提案会』を開催します！』についてです。

i-スマ（一宮スマートシティ推進協議会）は、2024年7月4日に発足し、間もなく1年を迎えます。2024年度予算で都市OSのデータ連携基盤を整備しましたので、できるだけ分野を超えて、市が所有するデータを活用しながら、市民の皆さまに便利になったと思ってもらえるようなサービスやアプリケーションなどを提供していきたいと考えています。そこでこの度、複数のi-スマ会員が連携して事業提案・プレゼンテーションを行います。6月26日（木）に開催する予定で、提案の内容を精査し、2026年度の事業として検討を進めていくことを考えています。出席者は、i-スマの会長で、名古屋大学医学部教授・名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター長の白鳥教授を中心に、私や会員の皆さんを予定しています。どなたでも傍聴可能にする予定です。

その他として、当日は官民いろいろな方が集まりますので、私から「FAXやめ（ていき）ます宣言」を出したいと思っています。「やめます」と断言したいところですが、急には難しいと思いますので、「やめ（ていき）ます」とする予定です。市ではいろいろな事業者や団体、市民の皆さまとのやり取りの中で、まだFAXでのやり取りは残っています。市がデジタルに力を入れて事業改革をしていくときに、はかばかしくいかない問題として、紙と電子の二重業務があります。申請のオンライン受け付けを可能とするなど、市民との対応ではフロントヤードでいろいろな電子機器を取り入れています。それを実際に処理する時は、紙にプリントアウトして処理をしているという状況が続いています。また、FAXで届いたものをスキャンして電子で取り込むなど、いろいろな作業が発生しています。FAXの回線契約は市の施設全体（小中学校・保育園を除く）では113回線あり、本庁舎だけでも35回線ありますので、これを削減し、何年かでやめていくということを6月26日の提案会で合わせて発表し、モデル化することを考えています。

現在、一宮市のウェブサイトでは、トップページにはFAX番号を掲載していませんし、名刺にも番号を掲載しないように進めています。やはり長年使われてきたものなので、少し時間をかけて、しっかり取り組んでいきたいなと考えています。

2 番目は「オンライン出生届はじめます」についてです。

これは国も旗を振って進めており、来年 2026 年度には全国の自治体で行われることになっていますが、一宮市では担当部署が頑張ってくれまして、今年からオンラインで出生届が受け付けられるようになります。多少制限があり、法律上では同居人や医師、助産師なども出生届を出せますが、オンライン提出ではお父さん・お母さんしか出せないとか、日本国籍がないと出せないなどの条件はありますが、オンラインで出生届が出せるようになります。全国的には、昨年の 8 月以降、福島県郡山市、東京都八王子市、福岡県福岡市など 19 自治体が順次実施しておりますが、愛知県内では一宮市が初になります。

3 番目は「救急隊のコンビニエンスストア利用について」です。

これから暑くなると救急車の出動件数が増えます。そこで、この夏に向けて 6 月 1 日(日)から、救急車がコンビニで休憩させていただくことがあります、ということでご理解をお願いしたいと思い、アピールをさせていただきます。一宮市では 2017 年に、消防団の方が消防車でうどん屋に行き昼食を取ったことで騒ぎになりました。確かにコンビニなどの店舗に消防車両などが停まっているとサボっているのではないかと思われたり、また逆にコンビニで何か事件があったのか、人でも倒れたのか、というような誤解も招いたりしかねません。そこで、休憩中はその旨を記載した A3 サイズの掲示物を置いて休憩を取る運用にします。これは名古屋市や三河の中核市などでは既に始まっていますが、尾張地方では一宮市が初になります。

出動はできるだけ少ない方が望ましいですが、最近は出動件数も増加傾向にあり、10 年前で年間 1 万 5000 件ほどだったのが、2024 年は 2 万件を超えて、1 日平均の 56.7 件にまで増えています。そうすると連続出動・継続出動が増えて、出動後に消防署に戻れないケースも増えていますので、コンビニで休憩をさせていただくことにご理解をいただきたいと思います。

4 番目は「令和 7 年度 6 月補正予算(案)に計上された主な事業」についてです。

6 月定例会に向けての資料で、6 月補正予算案の主な事業で 6 件ありますが、本日はそのうちいくつか抜粋してご紹介させていただきます。

No. 2 「石綿含有産業廃棄物に対する行政代執行」

今年の 1 月はじめに、サーライン(株)がアスベストを含んだ産業廃棄物を放置したことで愛知労働局に書類送検されました。一宮市も産業廃棄物事業者を監督する立場からさまざまな対応をしており、飛散防止措置命令を発出し、そのための聴聞なども行っていますが、相手方は聴聞にも来ず措置命令も履行されておりません。もちろん周辺地域の環境と住民の安全確保を優先に、石綿アスベストの大気環境測定を昨年の秋と今年の 3 月に行いましたが、アスベストは検出されていません。それでも、これからどういう状況になるか予断を許さないことから、まずは最低限の措置をとることとします。やむなく行政代執行というこ

とで今回の補正予算で 99 万円を確保し、シート掛けをしてアスベストが飛散しないよう対応します。

No. 4 「七夕まつりスタッフユニフォーム製作の負担金」

七夕まつりスタッフユニフォーム製作の負担金ということで、今年の七夕まつりは第 70 回を迎えます。これまで 10 年間、同じユニフォームを使ってきましたが、新しくリニューアルします。今のユニフォームの素材はポリエステルですが、市では繊維「尾州」を売り出しているわけですから「尾州」の生地を使ったらいいじゃないかというご意見もありまして、一宮商工会議所の会頭が代表を務める豊島（株）からいただいたご寄付を基に、ウールを使った尾州マーク付きのスタッフユニフォームへと変更します。

No. 6 「下水道管路の予防保全対策」

下水道管路の予防保全策ということで、今年 1 月、埼玉県八潮市で下水道管の破損が原因の大規模な道路陥没事故がありました。それを機に国から調査や対策工事の指示が来ています。これを受け、6 月補正予算案で予算を確保し、必要な調査を行います。また危ない損傷が見込まれるところについては対策工事を行うようにしています。

以上、私からの説明とさせていただきます。

質疑応答

■No. 1 「i-スマ会員による一宮市への DX 事業提案会」を開催します！

（記者）「FAX やめ（ていき）ます宣言」は、市としてやめていくという方針を出すということですか？

（市長）はい。市として宣言をすることで、市が日ごろから取引している事業者や団体、市民の方々に御理解を求めていく位置付けになります。

（記者）これまでも市では FAX をやめていく方向ではあったのですか？

（市長）そうです。一度、2、3 年前に市内で調査したことがあるのですが、地元の商店街との見積もりの提出依頼や医療・介護・福祉関係でも FAX を使っているところが多くて実施していませんでしたが、どこかで外に呼びかけないといけないと思っていました。ちょうど来月の提案会がいいタイミングと思い、「やめます」ではなく「やめ（ていき）ます」と宣言することで、時間をかけながらも理解が広まればと思っています。

（記者）小・中学校での FAX のやり取りについても廃止していくという方向性ですか？

（職員）FAX は極力使わないようにしていきます。完全にゼロになるわけではありません。

（記者）小・中学校にも極力使わないように指導、または要請しているということですか？

（市長）今は、小・中学校の保護者への対応もどんどんネットに移行しています。効率化、簡素化ということで、市だけでなく、小・中学校も含めて呼びかけていきたいと考えて

います。

(記者) 市民病院は？

(市長) 医師会からは、結構お医者さんが使っているみたいで、すぐに廃止はできないと言われました。今は紙と電子の両方を使って仕事をしないといけないですが、できれば電子の方に進んでいきたいと思って取り組んでいきます。

(記者) 「FAXやめ(ていき)ます宣言」を発することは初めてですか？

(市長) 一宮市がFAXやめ(ていき)ますということを宣言するのは初めてです。職員提案としては随分前から出ていて、いろいろと取り組んできたところですが、コロナ禍でデジタルが進んだとはいえ、医療・福祉分野ではまだまだFAXが使われている状態です。今また平時に戻ってきましたので、本来あるべきDXのX(トランスフォーメーション)の方で、業務改善をやっていききたいということで来月に向け宣言の準備をしています。

■令和7年度6月補正予算(案)に計上された主な事業

No.2「石綿含有産業廃棄物に対する行政代執行」

(記者) これは市民の方から要望があったのでしょうか？

(市長) はい。地元から要望をいただいています。

(記者) 実際にシート掛けするのはいつ頃ですか？

(職員) 補正予算の可決後、すぐにでも契約して、7月中には実施したいと思っています。

(市長) 台風や強い風が吹く時期になると、市民の皆さまの不安も増すと思いますので、その前にできるだけ早く措置できればと思います。

(記者) 結構、地元の皆さんも不安に感じていると思いますので、改めて市長のコメントを頂きたいと思います。

(市長) はい。本来は事業者責任を果たしてもらわなければいけません。全部を行政で行うことになると、それは税金による支出で市民の負担になってしまいます。そこで、事業者へ果たすべき責任を問いながら、措置命令やゆくゆくは刑事告発になると思います。それでも地域住民の健康が最優先ですから、行政として果たすべき役割としてしっかりと動く、そこは市としてバランスをとりながら進めていきたいと考えています。

(記者) シート掛けするエリアはどれくらいですか？

(職員) 二つの施設があり、一方が中間処理施設で、もう一方が積み替え保管施設となり、基本的には積み替え保管施設の方にある四つの大きな山にシート掛けをすることになります。

面積としては約900平方メートルとなります。

(市長) 事業所全体ではなく、積んである山のところにブルーシートを2枚重ねで覆って飛散防止するという計画になっています。

(記者) 刑事告発をする予定ですか？

(市長) おいおい、刑事告発も必要になるだろうと考えています。

(記者) 時期的な目途は？

(職員) 時期は、まだ申し上げる段階にありません。事業者が措置命令を怠った場合は、措置命令違反となりますので、その事実をもって刑事告発をしていくことになります。もう一つは産業廃棄物処理業の許可自体を取り消さないといけないということがあります。

(記者) 民事訴訟は考えていますか？

(職員) 民事訴訟となりますと、地権者さんたちに立ち退き訴訟を行っていただき、勝訴判決を得て強制執行していただくことになると思います。それに関しては、地権者さんに動いていただかないと何ともなりません。

(記者) 相手の事業者とは連絡が取れない状況ですか？

(職員) 今は、なかなか連絡が取れないという状態です。

(記者) 飛散防止措置命令を出したのはいつですか？

(市長) 飛散防止措置命令の発出は 4 月 14 日で、履行期限を 1 カ月設けて 5 月 14 日までにシートがけをしろという命令を出しています。